

目標達成計画

作成日: 平成 27年 5月 8日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束をしないケアの実践に向け、どんな事が身体拘束にあたるのか？どんな原則があるか？など、全職員が詳細までの認識が図れていない。	身体拘束の理念、対象となる具体的な行為、緊急やむを得ない場合、施錠・センサー・スピーチロックなど具体的事例などについて理解し、身体拘束をしないケアを実践していく。	身体拘束をしないケアの実践に向けて、全職員が内容を理解するよう、「福島県身体拘束ゼロの手引き」に基づいたマニュアルに沿って勉強会を実施する。	2ヶ月
2	35	年2回の避難訓練(1回は消防署立ち合い)は実施しているが、地震や風水害等に対する訓練が実施されておらず、地域の協力体制も未整備である。	昼夜を問わず、火災や地震、風水害等を想定した多様な訓練を実施し、利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を構築する。	多様な災害・避難を想定した訓練を行なうため、月1回程度の実施を計画する。また、地元消防団と連携を強化するため、非常災害時にすぐに活動できるようホームを視察頂き、意見交換する場を設けるとともに、非常連絡網も追加整備する。	3ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。